



ひおき市議会だより

No. 54

2018年11月

ざかいのとびら



きれいな学校、うれしいな~!

(伊集院北小学校 校舎新築)

9月定例会 主な内容

平成30年11月 第54号

- **議員発議定数案 可決!** ~ **議員定数22人から20人へ!** ~ P 13
- 安心・安全なまちづくり予算 (9月補正予算) P 2
- 12人が明日の市政を議論! (議員の一般質問) P 4
- 今後の市政に活かす! (29年度決算審査認定) P 14
- 調査事項どう反映させる (委員会調査・行政視察研修) P 16

農業振興育成費

1500万円



焼酎麴用米への助成金

農業情報通信技術利活用費

1498万円



イチゴ栽培の技術継承等（新規事業で100%補助）



さらに安心 安全なまちづくりへ

～2億1666万を追加し、総額281億6315万円～

地区公民館改修費

1億584万円



日吉閉校4小学校分の地区公民館への改修費

企業安定雇用創出費

1020万円



企業2社分の新規地元雇用者へ

観光PR武将隊の甲冑費



382万円

観光PR用の甲冑10領分

※イメージ写真

問 農業技術継承の取り組み内容は、

答 イチゴ栽培においてビニールハウスの環境データ・栽培管理データの解説と、栽培技術の継承の構築を確立するものである。

問 若年性末期がんの支援事業はどのようなものか。

答 居宅での療養で、余命6カ月との医師の診断が必要となる。延命した場合も継続される。

問 地区公民館改修費の工事内容は、

答 1地区公民館2千万円を基本に、スロープ・洋式トイレ・床を畳やカーペットに改修。

問 企業安定雇用創出の2社分の内容は、

答 伊集院地域で、1社が増設で25人雇用。もう1社は新設で、9人雇用。新規地元雇用者に対し、1人当たり30万円を交付。

◆ 平成30年度 一般会計・特別会計 賛否表

(予算額は、1万円未満切り捨て)

会計名	補正予算額	賛否表（並松議員は議長のため、表決には参加しない）																結果							
		桃北	佐多	是枝	富迫	重留	福元	山口政	山口樹	中村	留盛	橋口	黒田	下御領	山口初	西園	門松		坂園	大園	漆島	田畑	池満	並松	
一般会計補正(第4号)	2億1666万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険(第1号)	2億2410万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
公共下水道事業(第2号)	△296万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
農業集落排水事業(第1号)	0万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民宿舎事業(第1号)	6万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
健康交流館事業(第1号)	0万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
温泉給湯事業(第1号)	126万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
介護保険(第2号)	1億7506万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
後期高齢者医療(第1号)	△102万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
水道事業会計(第1号)収益的支出	△7万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

学校・給食センターのブロック塀の撤去費

634万円



ブロック塀を撤去し、フェンスを設置

若年末期がん患者療養支援費

48万円



若年末期がん患者の居宅サービスと福祉用具へ

一般質問

明日を論戦

「より良い市政を目指し、12人が登壇」



その他の質問
 ・受動喫煙対策について
 ・国保税の子どもの均等割額の免除について
 ・子ども医療費の高校卒業までの無料化と窓口無料化について

応については、被害の状況により、その避難経路が使用できない場合には、他のルートを活用し避難することになっている。
 安全な経路により避難するためには、県や他市町村との調整が必要であるので、県に必要性を要望していく。

【答弁】絶対安全はないと考へてくる

山口 川内原発の敷地内では、地震や津波、竜巻、テロ等に対する安全対策工事が総額1兆円（九州電力の説明）かけて進行中であるが、果たしてこれで絶対安全と言えると思うか見解を伺う。

原発事故と台風や地震津波などが重なる複合災害を想定した、避難計画が必要ではないか。

市長 安全対策については、絶対安全はないものと考えている。
 原子力災害の緊急時対応

小中学校普通教室に遅くとも来年の夏までには設置できるような、具体的な計画を示せ。

市長 学校が計測している室温の状況から、エアコンを設置すべきと判断した。多額の財源を伴うので2年かけて設置する。



山口 初美 議員

質問1 子どもの命を守るエアコンの設置急げ

【答弁】エアコンを設置すべきと判断した

山口 エアコンの有無が命にかかわる猛暑となり、

質問2 川内原発は絶対安全か

まず小学校から、国の財源措置があると聞いているので、できるだけ早く予算化したい。



田畑 純二 議員

質問1 人生100年時代の政策は

【答弁】第2次総合計画総合戦略を進めていく

田畑 ①人生100年時代へ向け、この本市行政の運営と市長の政治姿勢は。②人生100年時代へ備えて、日置市民の意識変革と適応力のつけ方は。

③鹿児島市他近隣市との関係や共生・協働をどう図っていくつもりか。
 ④本市の人口減少、少子高齢化、過疎対策をさらにどう進めていくか。
 ⑤本市内の企業の在り方をどう考え、どう接していくつもりか。

市長 ①国の人づくり革命基本構想の具体的事業内容を進めていく。

②適宜情報提供を行いながら、状況に応じて、市民生活の支障解決に向けた取り組みを検討する。
 ③市民活動応援講座の広域活用として、人材育成等の各種講座への参加を呼びかけ人材育成を期待。

質問2 本市の財政健全化と社会保障制度は

【答弁】引き続き厳しい財政状況が続いている

田畑 ①現在の財政健全化の現状と課題は何で、それへの切り開き方は。②財政計画の今までの実績評価と、今後の社会保障

制度等の進め方は。
 ③財源不足への対応をどう進めてきており、財政健全化の図り方は。
 ④財政状況を市民にどう知らせて、予算編成の見え方の進め方は。

市長 ①今後とも、財政計画に基づき、安定的で持続可能な財政運営に努める。

②諸計画等で一定の成果を上げてきた。今後、医療費の抑制等に取り組み。
 ③主に、財政調整基金等の繰入金で対応している。
 ④毎年度ホームページや市広報紙等で知らせる。

その他の質問

・明治維新150周年に向けての本市の対応について



普通教室内の室内扇風機



第3次行財政改革へ



福元 一悟 議員

質問 1 農振地域の見直しを図らないか

【答弁】地域の将来性を総合的に検討していく

福元 優良な農地は、将来にわたり農業経営に寄与していくことを目的としている。

一方で、本市の人口維持を考えていくとき、担い手問題や農業ハウス等の施設整備に期待の持てない地域では、土地利用の観点から農振地域の見直しも視野に入れ、検討していくべきではないか。

①前年度の農用地除外件数と実績はどうなっているか。
②市街地近郊の農地に対する考え方はどうか。
③都市計画マスタープランとの調整はどうしていくか。

市長 ①前年度の除外申請件数は6件で、実績においても同じく6件となっている。

②市街化近郊の農地については、区域の外周部で適正な転用計画と土地改良事業完了から、一定の年数経過があれば、県に除外の同意を求めることができる。

福元 香川県の一級河川を管理する河川国道事務所の出張所では、堤防や河川敷、道路等で大量に発生する草木等を堆肥化する取り組みが実証されている。本市における市道等の清掃や河川愛護作業から出た刈草の処分現状と、その堆肥化について取り組まないか。

質問 2 市道や公園等の雑草処理の堆肥化は

【答弁】堆肥化は課題を整理していく必要がある

市長 自治会からの処理依頼は年30件で、市の置き場やクリーンリサイクルセンターで焼却処理している。また、病害虫の発生や雑草種の混入拡散や経費、作業スペース等の問題もあり、課題整理が必要である。



自治会清掃作業時の刈り草堆肥化を



山口 政夫 議員

質問 1 生活物資備蓄の分散を

【答弁】備蓄場所を見直していく

山口 ①防災生活物資備蓄は、各支所及び地区公民館に分散備蓄しないか。

②原子力避難計画で地区公民館や自治公民館等へどのように周知し、認識されているか。
また、避難所としての運営指導や訓練はどのように行っているか。
③日置市避難所運営マニュアルの実施状況と今後の取り組みは。

市長 ①各地域に必要な品目や避難所のスペースを調査し、災害時に対応できるように備蓄場所を見直していきたい。
②文書で趣旨を説明し、事前に承諾を頂き指定している。
施設の職員の交代、学校職員の転任もあり、指定避難所であることを周知し、受け入れ先である事を認識できるように、施設に表示を行っていく。

④事態が安定してきた時期の指定避難所には、運営委員会が作られるべきと考えている。
初動期に職員が対応できるようにしたうえで、体制を整えていく。
⑤発電機の備蓄も行っており、指定避難所である地区公民館の意見も伺いながら、配備を検討していき

ら、配備を検討していきいと考える。
⑥設備投資及び運用費用が必要となり、費用対効果を考慮すれば、職員が防災行政無線により地区公民館の対象自治会に一斉放送する方法で、対応していきいと考えている。



防災用物資の分散配備検討を(簡易テント、トイレ)



西園 典子 議員

質問 1 災害時の住民意識と市の姿勢や体制づくりは

【答弁】安全は自ら守る意識啓発と防災能力の強化を

西園 特別警報で避難を促しても、実際に避難所に逃げた人は、3%に満たないという報道がある。多発する災害に対し、自

治体や住民の認識、伝達の方法、行動のあり方をどう分析するか。
④地区公民館を核とした地区防災体制を構築しないか。
⑤地区公民館に電源確保のため、小型発電機を整備しないか。
⑥防災行政無線システムで、地区公民館を単位に放送はできないか。

複合災害は、非常に難しく、県や他自治体との調整も必要である。
県に必要性を要望し、訓練などしていく。

質問 2 安定ヨウ素剤の学校備蓄を

【答弁】管理上、安定ヨウ素剤は本庁舎で備蓄

西園 川内原発から30km圏内希望者へ、安定ヨウ素剤の事前配布があったが、周知に配慮不足を感じた。再度の配布が、必要ではないか。
玄海原発周辺3市町では、公民館や学校に備蓄してい

る。
島根原発50kmの篠山市では、市内の子どもの7割が事前配布を希望した。
放射性物質の影響を受けやすい子どもを守りたい、親の気持ちではないか。
身近な学校などに、備蓄できないか。

市長 安定ヨウ素剤配布の周知は、行政嘱託員による該当地域への全戸配布、市ホームページ、県広報紙などで行った。
未受領者への再交付はできないように、県と協議したい。
学校での備蓄は考えていない。



日頃からの備えと訓練を(市総合防災訓練)



是枝 みゆき 議員

質問1 避難所への備蓄整備を

【答弁】分散できる備蓄スペースを確保したい

【是枝】①備蓄倉庫を各避難所等に設置しないか。②配慮者に対する備蓄食糧の充実とともに、日本栄養士災害支援チームとの連携

携や、管理栄養士の関与も重要であると考えている。③学校体育館を含む46避難所のトイレやスロープの設置状況をどう考えるか。

市長 ①交付金事業等の活用による整備を要望している。避難所に備蓄できるように方向で検討し、分散できる必要な備蓄スペースを確保したい。

②乳幼児や高齢者などにも食べやすいパンやクッキーなどの備蓄を進めている。きめ細かい対応に努めるが、家庭や自主防災組織での備蓄も必要である。

出前講座や訓練を活用し、住民の声も聞きながら進めたい。

元地区から中継ポンプまでの2.7kmと吹上砂丘荘までの1.3kmの工事計画と費用はいくらか。

また、現在の布設工事は全部終わったのか。終わっていない箇所があるなら、残りはいくらほどか。

橋口 正人 議員

質問1 温泉給湯事業の工事計画と費用は

【答弁】工事費は2億円財源の確保が課題

【橋口】吹上湯之元地域の送湯管布設替工事4km(湯之

市長 給湯配管布設替工事は平成32年度着工予定で、泉源から中継ポンプを経由し、吹上砂丘荘までの4kmで、約2億円かかる予定。吹上湯之元地域の今後10年間の整備予定は、泉源から貯湯槽までの送湯管約420mと3カ所のポンプ設備の整備等で、約8千



桃北 勇一 議員

質問1 子どもの貧困調査に取り組まないか

【答弁】他自治体でうまくしているなら実施したい

【桃北】就学援助支援策は申告したひとり親世帯、要・準要保護世帯に限っている。子どもの貧困対策は、不

十分であり、調査しない理由が見当たらない。2016年の国民生活基礎調査の子どもの貧困率によると、鹿児島県はワースト3位である。支援策が届いていない貧困世帯へ支援の手を届け、子どもが生まれた経済的環境で、将来が決まる時代へ、日置市は終止符を打つべきではないか。

市長 鹿児島県の実施した子ども調査の結果を一つの資料と位置付けている。申告しない世帯には、それぞれ理由がある。公的に個別支援を図ることは、支援方法や財源等で時間がかかる。

ていきたい。日本栄養士災害支援チームとは、今後も食の充実のために連携に取り組んでいき、管理栄養士は、位置付けを見直していきたい。

【答弁】普通教室のエアコン設置は来年度から

質問2 エアコン設置計画と他教室等の暑熱対策は

【答弁】普通教室のエアコン設置は来年度から

【市長】①国の財政措置の意向を見ながら、2年計画で、できるだけ早い時期に設置したい。

質問2 吹上砂丘荘の大広間を宿泊施設に

【答弁】現段階では考えづらい

【市長】大広間を宿泊施設に改修する計画はないが、今

【橋口】平成32年度実施予定の、2億円かかる温泉給湯事業の布設替工事をやめて、吹上砂丘荘大広間を宿泊施設へ改修することや、今ある部屋を一人部屋に改修し、さらに、温泉をやめて沸かし湯にできないか。また、吹上砂丘荘を壊して民間に募集をかけ、民間

法や条例に沿った支援策の中で、学校や地域と連携し自立を支えていく。子どもの居場所や活躍する場を構築していくために、今後も継続して粘り強く展開していく。把握していない貧困家庭の子どもが、おそらくいるであろうと認識している。プライバシーを含め、調査の在り方が難しいが、他の市町村での取り組みを聞いて、検討していきたい。

質問2 救命士、消防士の体制をどう考えているか

【答弁】必要性を認識し、予算確保に努める

【是枝】①エアコン設置はいつからか。また、暖房は使えるか。②特別教室や体育館の暑熱対策は、どう考えるか。

【市長】①国の財政措置の意向を見ながら、2年計画で、できるだけ早い時期に設置したい。冷暖房使用可能なため、冬場でも温度が下がった場合は、使用する予定。②特別教室の扇風機設置は、閉校した学校の備品を活用し、体育館は、活動を取りやめる条件等の目安を現在検討している。

【市長】大広間を宿泊施設に改修する計画はないが、今

後、利用者ニーズを踏まえながら二人部屋の設置や、沸かし湯にする事も検討していく。ゆうぷる吹上・吹上砂丘荘の施設は、共通する所があるため、十分検討し、内部集約を早く進めたい。基本的には、吹上砂丘荘は残していくべきと考える。



布設替工事を行う予定の吹上砂丘荘

【桃北】高齢化、人口減少の中で、救急救命士や消防士は、連続した緊張状態で業務に取り組んでいる。中でも救急救命士は高度な技術を要し、特定医療行為も37件、ドクターヘリ要請も70件程である。職員のモチベーションや緊急・救急体制について、今後どのように取り組んでいくのか。

【市長】救急救命士は合併当初9人で運用していた。現在は21人が取得し、常時15人で対応しており、問題は無いと考えている。その他の質問・今後の6次産業化の取り組みは。



子どもの貧困調査検討を(鹿児島市子どもの生活調査)



災害時の食糧備蓄品の充実を



坂口 洋之 議員

質問 1 西日本豪雨災害の教訓と防災への課題は何か

【答弁】 逃げ遅れケースも多く早めの避難が重要

坂口 今回の西日本豪雨災害は、避難指示・避難伝達・防災用語の周知、住民の3%程度しか避難しない状況

等課題があった。危機意識、防災力をどう高め、地域防災計画等、今後どう見直すのか。広島では、夜間に避難指示が出され、周囲の状況が理解できないまま避難した。夜間訓練や、雨の状況を想定した訓練を実施すべきでは。災害時の、要配慮者名簿の対象者の状況は。2次避難所である福祉避難所の設置訓練を、本市も実施すべきでは。

防災用語は、広報紙、お知らせ版で周知する。夜間や雨の時期の訓練については、自治会や消防団等、全域でなくてもできるところから実施すべきと考える。要配慮者は、6494人、個人情報もあり、了解を得ながら自治会長に名簿を配布している。福祉避難所は、8法人11施設、設置訓練は事業者と連携して検討していきたい。

坂口 市長の平和への認識は。先の大戦で本市において軍人、民間人等、何人程度亡くなっているか。戦争の記録・記憶の継承、体験者の記録集等、幅広く意見を聞く取り組みを。



8月に実施された日置市総合防災訓練



佐多 申至 議員

質問 1 保育サービス・学習支援事業の現状は

【答弁】 保育ニーズは高まり学習支援は全学年に

佐多 ①生活環境や保護者のニーズがあるが、保育士

不足等の問題も含め、本市の保育サービスの現状はどうか。②2019年10月幼児教育無償化の方向だが、今後の保育サービスの動向をどう捉えているのか。③今年度の生活困窮者対策における、学習支援事業の状況はどうか。

ないので、急激に保育ニーズが高まるとは想定しにくい。③学習支援は、今年度より第1と第4土曜日の10時から第1と第4土曜日の10時から開催で、対象を中学校全学年とした。教科指導にとどまらず、進路や興味について話相手になったり、アドバイスも行ってはいる。

は、どのような体制もしくは、環境整備に努めていくのか。②対象者が増えているが、今後の就労支援や障がい児通所支援の動向をどう捉えているか。

のさまざまな相談に対応し、必要な情報の提供や助言ができるよう、啓発を図りながら関係機関との連携に努める。

市長 ①保育士は処遇改善加算措置等により、おおむね確保できている。働く女性が増加し、3歳未満児の保育率が微増。②保育所の入所は、保育に欠ける事が原則であり、3歳未満の3号認定世帯のうち、非課税以外は対象では

質問 2 障がい者が増加傾向だがサービス体制は

【答弁】 相談に対応し、関係機関と連携に努める

佐多 ①障がい者が増加傾向にあるが、福祉サービス

具、地域移行支援等の自立支援給付と、相談支援員や日常生活用具、移動支援等の地域生活支援事業に取り組みたいと考えている。②多種多様な就業機会をハローワークや就業支援センター等と連携し、構築する。本人やその家族等から

就労相談会・就労支援施設の物販&PRなど



黒田 澄子 議員

質問 1 AEDのマップ・屋外設置・消防団消防車へ

【答弁】 マップ・屋外設置・消防車への配備は検討

黒田 これまで、AEDの全地区公民館への設置がなかったのはなぜか。その事で命にかかる事案

はなかったか。市民よりAED設置場所がわからない、あっても夜間や土日・祝日に、施設が閉鎖していると使えないとの声がある。また、消防車の到着まで20分以上かかる地域もある。マップの配布や消防車到着に時間のかかる地域など、計画的な屋外設置や消防団消防車への配備を考えないか。

質問 2 肺炎球菌ワクチン未接種者への救済措置を

【答弁】 国の動向をみて検討

黒田 国民の死亡原因の第3位は肺炎である。平成26年度から定期接種化された高齢者肺炎球菌ワクチンは、高額なために一

本年度中に、未設置の地区公民館へ配備する。マップは広報紙への掲載を、屋外設置は実施自治体の調査・検討を、消防団消防車への配備は、前向きに検討する。

生に一度、5年を限度に65歳から5歳刻みの年齢の方に公費助成された制度だ。医療費抑制と健康寿命延伸の意義がある。これまでの接種率は低く、未接種の市民は、このワクチンの効果や一度限りの公費助成制度が理解されていなかったのではないかと。いちき串木野市では、75歳以上の市民全員が公費助成される救済措置が取られたが、本市も実施しないか。



AEDの屋外設置の検討を(鹿児島市に設置された屋外用AED)

その他の質問
・公立学校のエアコン設置
・生活保護世帯のエアコン設置
・学校の熱中症対策
・民法改正による市営住宅連帯保証人廃止への対策

議員発議・請願のゆくえ

議員定数22人から20人へ

議員発議による議員定数条例の一部改正

【提出者】 富迫克彦
【賛成者】 桃北勇一・是枝みゆき・佐多申至

賛成 20 反対 1 で、可決されました

【提案理由】

●今後の人口減少や普通交付税の減少など、日置市を取り巻く行財政の変化を考慮し、あわせて、議会自ら継続的に議会改革に取り組む必要性から、日置市議会会議規則第14号第1条の規定により提案するものである。

討論

【反対】 合併前76人いた議員が合併当時に30人に、そして4年後に8人減の22人となった。議員の仕事は、市民の声を市政に届ける事であり、議員数を減らす事は、市民の声を切り捨てる事と同じである。これ以上減らす事は、市民にとってマイナスである。

【賛成】 今後の人口減少や普通交付税の減少など、行財政の変化を考慮し、議会自ら改革に取り組む必要があることから、特別委員会を設置し、審議してきた。定数20人は、議会自らの身を切る議会改革である。



賛否表（並松議員は議長のため、表決には参加しない）

桃北	佐多	是枝	富迫	重留	福元	山口政	山樹	中村	留盛	橋口	黒田	下御領	山口初	西園	門松	坂口	大園	漆島	田畑	池満	並松	結果
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

請願書

【請願者】 日置市吹上町中原在住
伊作峠トンネル建設期成会 会長 西陽三氏
【紹介議員】 漆島政人・大園貴文・樹治美

全会一致で採択

●国家プロジェクトとして薩摩半島広域道路ネットワークを充実し、半島の経済活動をはかる伊作トンネル建設を推進する要望について

谷山伊作線（県道2号線）は、鹿児島市と薩摩半島西岸域を結ぶ重要な基幹道路である。トンネルの建設で、南薩縦貫道路と指宿スカイライン及び国道225号線がスムーズにつながる。伊作峠トンネル開設へ向けて、県・国の関係機関へ具体的な働きかけを強く要望するものである。

人権擁護委員



東福 泰則氏
(東市米町養母)

人権擁護委員が再任されました。

人事案件

町のきまりが変わりました

指定密着型サービス事業者の指定基準の変更。病床のある診療所も含まれる事となりました。



妙円寺みなみ台公園とサザンヒルズ猪鹿倉公園が都市公園になりました。



家庭的保育事業の設備や営業の基準が見直されました。



池満 一歩 議員

質問 1
人口の減少に備え現状と、将来の取り組みは

【答弁1】 現実を直視し市民と一体で取り組む

池満 ①20年後の、本市の人口は、何人と予測されているか。
②これまで維持困難自治

会合は統合してきた。更なる支援も必要ではないか。
③地区によっては、自治会と地区館業務の重複もあり、これらの解消も検討すべきではないか。
④約300億円の本市の借金のうち、合併前の金額はいくらで、完済予定はいつか。
⑤建物系公共施設で、築45年超はいくつで、また停止施設はいくつあるか。
⑥施設管理の3基本方針の減らす基準に、利用頻度や人口減少は加味されているか。
⑦市民要望等の主たる採択基準は何か。
⑧市民との情報の共有、

市民参画の更なる推進が必要だが、どう進めるか。
⑨次世代に、負の遺産を残さずバトンタッチしたい。人口減少に向けた、市長の本気度を伺う。
市長 ①国立研究所は、約3万8千人と推計している。
②50世帯以下の自治会も多く、交付金制度の継続支援ができるのかどうか、議論していく必要がある。
③26の地区館一律でなく、山間地域などでは、自治会活動を補う2層構造も必要。
④約43億円が合併前の借金で、その完済予定を平成44年と計画している。
⑤23施設・63棟が45年超

止が37、用途廃止の停止が10施設である。
⑥利用頻度は、加味していないが、今後は施設ごとの稼働率を計画に含める。
⑦要望・事業の採択基準の第一は、財源の確保である。
⑧あらゆる会合等で、財政状況など説明し、市民と情報共有を図る。
地域協働ワークショップで、住民参画型への移行を推進する。
⑨人口減少していく中で、自治体のサービスのあり方や負担など、先送りせずできることから進めていきたい。



大切に使用したい公共施設

平成29年度の決算は、9月3日の本会議で各委員会に分割付託され、9月7日、10日に委員会を開催し、審査を行いました。

平成29年度 市政に活かす！ 決算審査

平成29年度決算の概要

平成29年度は、自主財源29・4%、依存財源70・6%と依然として自主財源に乏しい財政状況であった。
歳入については、対前年度比1億4608万2千円減額の275億4574万円であった。
歳出については、対前年度比9636万7千円増額の266億5724万7千円であった。
結果として、経常収支比率89・3%で、対前年度比0・9%減少していた。

主な質疑内容の紹介

〔総務企画〕

問 財産売却の価格設定は、希望価格で売却ができていないのか。
また土地、建物はどうか。

答 公用車については、ヤフー官公庁オークションに出品し、入札しているのが最低制限価格以上で売却している。
普通財産・法定外公共物については、固定資産税をもとに、売却予定額を算定しているが、難しい場合は不動産鑑定額としている。

問 コミュニティバス、乗合タクシーの利用状況は、どうか。

答 利用者は毎年減少しており、コミュニティバスは目的の地まで時間を要し、乗合タクシーは利用方法がわからない等の声があった。

問 コピー使用料が28年度と比較して33%削減となっているが、その主な要因は何か。

答 使用料の引き下げ効果が最も大きいですが、紙の代わりにメールで送ったり、会議資料を減らすなど、職員

の努力も貢献したと考える。



コミュニティバスの運行時刻の周知を

〔産業建設〕

問 オリブの搾油所が完成したが、29年度の実績はどうか。

答 平成29年度は、約90kg収穫した。

問 単独災害復旧事業の修繕費に約1100万円の支出をしているが、個人負担は発生しないのか。

答 修繕において負担が発生するのは農地であり、農業用施設は対象外としているので、個人負担はない。

問 市道の路側帯の伐採作業が追いついていない状況だが、何か対策を考えているのか。

〔市民福祉〕

問 コンビニでは、個人カードで印鑑証明書が取れないが、市役所窓口で取れないのはなぜか。

答 窓口では、条例で印鑑登録カードでないと交付できない。
コンビニでは、個人カードを印鑑登録カードにみなすと定めている。

問 民生委員の役割が多すぎる等の相談や困りごとを聞くが、対応について市はどのように考えているか。

答 仕事内容に線引きがないため問題である。
悩んだら、行政に連絡を頂くよう話している。

問 がん検診の延び率が厳しいが、分析はどうか。

答 新たな受診者がおらず、固定的な市民の受診になっている。
市民へのアプローチが課題である。

〔教育文化〕

問 奨学金の返済半額免除の制度にも取り組んでいるが、申請者が少ないのは成績が平均4以上と高いからではないか。



伝統芸能等の伝承支援に (伊作太鼓踊り)

答 周知は学校を通じて行っているが、平成29年度は2回募集した。
成績基準は、学業及び人物が優秀な方に、本市に残って頂きたいとの考えからである。

問 民族芸能等伝承活動支援事業は、どのような基準での支援事業か。

答 補助金交付要項では、保存団体が途絶えて10年以上経過したものについて、復活した年度に限り50万円を補助と規定しており、全国披露する場合は10万円を補助する規定を作っている。

決算審査討論

◆一般会計

反対 官制ワーキンググループ・人事事業費・就学援助制度・マイナンバーカード・原子力避難訓練・指定管理者制度などの問題点を指摘し、反対する。

賛成 依存財源は前年度より構成比で1.8%減らし、自主財源確保への取り組みが確認できる。
多くの事業に積極的に推進され、成果も確認できることから賛成する。

◆国民健康保険特別会計

反対 構造的な問題点を指摘し、高すぎる国保税が市民を苦しめている実態を考慮し、反対する。

賛成 毎年、一般会計から1億円の繰り入れの実施や、訪問指導、適正受診の呼びかけなど、取り組みは評価されるので賛成。

◆介護保険特別会計

反対 介護保険料や利用料の負担が重い問題等で反対する。

賛成 介護サービスを利用したい時に利用でき、各種介護保険事業も実施できたため賛成。

◆高齢者医療特別会計

反対 保険料負担、患者負担の引き上げで、さらに高齢者を苦しめた問題等で反対。

賛成 医療・介護の連携もでき、高齢化社会を見据えた医療制度であり、賛成。



◆各会計の決算額と採決の結果

(決算額は、1万円未満切り捨て)

区分	歳入決算	歳出決算	差引	採決の結果	
一般会計	275億4574万円	266億5724万円	8億8849万円	賛成20：反対1	
特別会計	国民健康保険	78億754万円	75億8370万円	2億2383万円	賛成20：反対1
	公共下水道事業	5億6233万円	5億4198万円	2035万円	全会一致で可決
	農業集落排水事業	3561万円	3385万円	175万円	全会一致で可決
	国民宿舎事業	1億9226万円	1億9171万円	54万円	全会一致で可決
	健康交流館事業	1億3663万円	1億3662万円	4千円	全会一致で可決
	温泉給湯事業	968万円	841万円	126万円	全会一致で可決
	介護保険	57億2405万円	55億6025万円	1億6380万円	賛成20：反対1
	後期高齢者医療	6億7537万円	6億7365万円	171万円	賛成20：反対1
水道事業(収益的部分)	8億6454万円	7億6981万円	9473万円	全会一致で可決	
合計	435億5379万円	421億5728万円	13億9650万円		



たわわに実った日置市産オリーブ

答 作業員は現在、吹上9人・伊集院8人・東市来8人・日吉6人であり、当初予算で増員予算の計上を検討。
問 草払い作業は優先順位があるのか。
自治会での草払い困難区間を把握しているのか。
答 幹線道路や通学路などを優先的に伐採している。
作業困難区間は把握できていないので把握に努める。

防災・減災への取り組み 女性消防吏員任用について

総務企画常任委員会……平成30年7月9日～11日

- 問** 災害発生時に1人では避難できない住民の名簿は、自治会長や民生委員消防団へ情報提供しているか。
- 答** 情報提供を認めた住民の名簿のみ、福祉課から自治会長などに渡してあるが、その他の名簿は逆に受け取りを拒否される。
- 問** シェイクアウト参加者の声はどうか。
- 答** 訓練後にアンケートを実施したが、防災への取り組みとして進んで参加しており、有益な訓練であると実感している。



防災・減災の取組みについて

- 問** 座間市は、179自治会中、132自治会は自主防災組織を結成。3年任期で25人に地域防災推進委員を委嘱している。また、シェイクアウト訓練（地震発生から1分間の行動訓練）を実施している。
- 問** 防災・減災の取り組みについて

【調査箇所】
神奈川県座間市危機管理課

【まとめ】
座間市は人口密度が高く、まちがコンパクトにまとまっているため、防災面では連携系統や避難所への移動などがやりやすいと感じた。広域避難所も小中学校、高校のグラウンドや公園など22地点、23カ所を指定しており、延べ面積は約65万㎡で収容可能人数は32万4千人である。市の人口の約2・5倍を収容できる規模となっている。

【調査箇所】
福島県安達地方広域行政組合消防本部

●女性消防吏員任用の取り組み

安達地方広域消防組合は、二本松市、本宮市、大玉村の2市1村からなる組合である。女性消防吏員の任用は、平成5年に2人採用しているが、平成22年からは現場に出ている。

●主な質疑

- 問** 女性消防吏員は何人が理想と考えるか。
- 答** 国の指針は5%を目標としており、それできくと6、7人になるが、妥当な数値だと思う。
- 問** 2市1村で行う広域消防で、やりにくい面があるか。
- 答** 毎月首長同士で管理者会議を開き、細かく協議を行っているので、特に問題はない。



女性消防吏員任用に伴う対応について

【まとめ】
施設整備での経費や配慮は、当然必要になる。通信指令室での対応、現場指揮者としての行動などが高く評価されている。本市でも、早急に女性消防吏員を採用して行くことが望ましいと思う。

小中学校 特別支援学級と ブロック塀の調査

文教厚生常任委員会……平成30年7月26日

【調査箇所】
伊集院小学校特別支援学級

- 問** 運営状況
- 答** 学級の児童数は1クラス8人が上限。知的（1学級8人）で、その子に合わせて学習や生活の力をつける。情緒（3学級22人）で、自立を目指しソーシャルスキルトレーニングを行う。
- 問** 主な質疑
- 問** 通常学級と支援学級の関係は。
- 答** 双方の連携をとり、一部教科や学級活動は一緒にやっている。
- 問** どのような児童が学んでいるか。
- 答** 対人関係の課題や、チック症・夜眠れない等の児童もいる。特別支援学校が適正であるが、市内各学校の支援学級に入っている子どももいる。施設整備はどうか。
- 問** 暑さ寒さ対策やトイレ、畳・水道設備も必要か。

【調査箇所】
伊集院中学校特別支援学級

- 問** 運営状況
- 答** 知的（6人）情緒（6人）で、一人一人を大切にとの理念のもとに指導。今後、教室不足が起きるため教室配置の検討案がある。
- 問** 主な質疑
- 問** 教科指導の現状は。
- 答** 5教科は、教科担任が指導にあたる。宿題は、その子に合わせて出題している。
- 問** 思春期への対応はどうか。
- 答** 親子で、療育のカウンセリングを受けている。男女のトイレや更衣室を分けたり、パーソナルスペースの取り方の指導をしている。1学年に1人の支援員がほしい。
- 問** 以前に比べ現状は。
- 答** 理解されるようになり、きめ細やかな指導になっている。

【まとめ】

保護者や教育現場での理解と取り組みが進み、対象児童生徒が増えてきた。普通学級でも支援を要する児童生徒がいる中、教員には苦勞がある。より多くの支援員の配置を検討してほしい。教室の確保や空調整備・トイレの設置も計画的な実施が望まれる。今後とも特別支援教育の啓発や講演会の実施をすべきである。

【ブロック塀点検調査結果】

教育委員会の緊急な調査により、幼稚園・小学校・中学校・給食センターの29施設のうち、14施設にブロック塀があり、対策が必要であると報告を受けた。設計図書もなく老朽化したブロック塀は、診断せず全てを新たに設置し直すことに決めたとの事で、今後9月補正で予算計上する予定であると報告を受けた。



市内の小・中学校関係施設
全てのブロック塀を点検調査

●主な質疑

- 問** 工事はいつの予定か。
- 答** 予算が可決したら、10月から取り掛かる予定である。
- 問** 市内の関係施設全てを点検し、基礎や鉄筋が不明な塀や、控え壁の不足、不備な塀は全て撤去することと、対応策まで検討しており、適正に判断していると考えらる。
- 問** 現場によっては、ブロック塀に付属する施設も老朽化しており、施工方法も検討すべきと考える。

議会改革の 取り組み状況を調査

議会運営委員会 ……平成30年7月23日～25日

問 議会IT化の推進において、タブレット端末の貸与と活用状況について。

答 議員個人で通信契約しているが、月の利用料金は、公費と私費で案分負担するルールとなっている。自宅への持ち帰りは議員のモラルに任せているが、利用制限はない。

問 利用状況は、本会議、委員会の審議等で必要な時は持ち込み可能である。

答 ほかに、事務局と議員間での文書、写真等の送受信等に活用している。

問 議会報告会への市民参加状況について。

答 年々、住民からの意見も要望型に変わってきている。来場者も高齢化が進み、パターン化してきているが、

問 議会改革への取り組みについて。

答 松阪市議会は、6つの会派で構成され、全て

【調査箇所】 三重県松阪市議会



議会IT化の推進について

内容的にも充実してきており、出席率は平均15～18人である。

現在、鳥羽未来トークと称し、5人以上の申し込み団体を対象に、年10回程度意見交換会を進めている。

【調査箇所】 三重県鳥羽市議会

予算・決算常任委員会・議会IT化・議会報告会・政務活動費等について調査を行った。

●主な質疑

問 議会IT化の推進において、タブレット端末の貸与と活用状況について。

答 議員個人で通信契約しているが、月の利用料金は、公費と私費で案分負担するルールとなっている。

問 自宅への持ち帰りは議員のモラルに任せているが、利用制限はない。

答 利用状況は、本会議、委員会の審議等で必要な時は持ち込み可能である。

問 ほかに、事務局と議員間での文書、写真等の送受信等に活用している。

答 議会報告会への市民参加状況について。

問 年々、住民からの意見も要望型に変わってきている。

【調査箇所】 山口県周南市 加工グループほたる工房

●6次産業化の取り組み

平成22年に6次産業化・地産地消法により、周南ブランドの認定、加工品や販売に取り組んでいる。

また、学校跡地利用の活用にも取り組んでいる。

●主な質疑

問 新商品開発事業は、年に何件程度の申請をし、開発した新商品はあるか。

答 毎年、2～3件の登録申請があり、平成27年度に自然薯を使用した新商品を1点、平成29年度に山芋を使用したかるかん・冷トロ汁を商品化した。

問 ほたる工房は、県と市の補助金及び地域住民の寄附等より加工施設を整備とあるが、整備費用はいくらで、内訳はどうか。

答 整備費用は965万円。内訳は、地域からの寄附と積立金で240万円、国の過疎集落交付金が

245万円、中山間地域総合支援補助金として、県と市それぞれ240万円の計965万円である。

【まとめ】

閉校した学校跡地の活用が図られ、農産物加工施設も郷土資料館の一部を改装し整備されていた。補助金に加え、会員や地域住民からの自己資金240万円等で整備され、地域による6次産業化の取り組みがなされている。

ブランド認定による商品PR、道の駅での販売や高齢者世帯への弁当宅配事業など、直接消費者に販売する新たな販路拡大を展開している。



加工センター内での意見交換の様子

【調査箇所】 国土交通省香川河川 国道事務所土器川出張所

●刈草・伐採木を利用した堆肥化工法の取り組み

住民と行政の協働により、これまで焼却・廃棄処分されていた刈草・伐採木の堆肥化に取り組んでいる。

●主な質疑

問 導入・技術指導している自治体はあるか。

答 香川県小豆島町でオリブの剪定枝を堆肥化し、ほ場で使用している。発酵による高温で炭素菌が死滅の効果があった。

問 また、滋賀県では琵琶湖の水草の堆肥化を実施している。

問 本市でもホテイアオイの処分が苦慮しているが、堆肥化は可能か。

答 ホテイアオイは、水分が多いため水分調整が難しいが、窒素やリン等の肥料成分を多く含み、成分的には非常に良い堆肥ができる。

【まとめ】

本市も県の二級河川や市の準用河川が多くあり、高齢化・過疎化が進み労力が不足する中で、自治会や地域ぐるみで草払い清掃等に取り組んでいる。伐採のあり方や刈草の活用について、堆肥化することは有効な手段であると考えられる。



簡易シート工法による堆肥化の発酵準備作業の様子

問 の議員が会派に所属している。

問 政務活動費の交付額と使途について。

答 1人当たり月額2万5千円で、年間30万円である。

各会派へ交付し、会派ごとに会計報告している。使途としては本市と異なり、議会活動に関する個人的な広報活動や議会報告書の作成費用に使用できる。

【まとめ】

本市が抱える課題として4つがあげられる。

議員力、議会力の向上について、松阪市は、基本条例に基づき市の政策水準の向上を図っていた。市民の立場から条例の提案、議案の修正、決議等の政策提案を行っていた。

踏み込んだ議論のためにも「反問権・反論権」の検討、具体的な調査研究が必要と考える。

タブレット端末の議会運用は、課題を整理し、導入を進める必要がある。



議会改革への取り組みについて

あなたも、議会を傍聴してみませんか。

市議会は、市の予算や身近な問題について話し合う大切な場所です。

- 受付簿に住所・氏名を記入いただくだけで、誰でも自由に傍聴できます。
- 市役所本庁4階までお越しく下さい。(エレベーターがあります。)
- 議会中継が、**スマートフォンやタブレット端末でも**見られるようになりました。



・学校の社会科見学や自治会、PTA等の研修でぜひ傍聴にお越しく下さい。
【お問い合わせ先】 議会事務局 ☎248-9435

第54号の表紙

多くの方々のご尽力とお力添えにより新校舎が完成し、2学期から素晴らしい環境の中で、充実した教育活動を行うことができており、感謝申し上げます。

119人の子どもたちは、「日本一、新しい校舎」であることに誇りをもちながら、これまで先輩方が築いてこられた伝統と校風を受け継いでいこうと、毎日の学校生活を送っています。

一方で現在、旧校舎の解体工事も進められております。

約60年間、お世話になった旧校舎への感謝の気持ちも忘れず、心豊かでたくましい子どもたちを育てるために、今後とも保護者や地域と連携し、職員一丸となって日々の教育活動に専念してまいります。

(渦尾伊集院北小学校長)



平成30年第4回(12月)定例会会期日程(案)

- ◆11月26日(月)..... 開会
- ◆11月27日(火)、28(水)、29日(木) 各常任委員会
- ◆12月6日(木)、7(金)、10(月) 一般質問
- ◆12月21日(金)..... 閉会

※日程は、都合により変更になる場合もありますので、ご了承ください。

編集後記

スポーツの秋、さわやかな風が吹き抜け、冬はそこまできています。自分の体は、自分でつくる。

心と体は何歳からでも変われます。

本市では、昨年度から健康モデル都市プロジェクトを立ち上げ、リング教室を行っています。

市民がいつまでも健康で元気に過ごせるよう、病気になりにくい体づくりに取り組んでいます。

63歳の私も、リング教室に参加し、ドロイン(息を吐きながら、お腹をへこませるストレッチ運動)をしながら、体を動かし、日々、健康なからだづくりに励んでいます。(橋口)

《発行責任》

長 並松 安文

《編集責任》

広報編集委員会

- 委員長 橋口 正人
- 副委員長 是枝 みゆき
- 委員 黒田 澄子
- 山口 政夫
- 佐多 申至
- 桃北 勇一